

日本のオヤジ 尊厳なし?

中・韓・台と比較調査

日本のお父さんの存在感はいまひとつ? 中国と韓国、台湾に比べ、日本では父親の権威を尊重する考えが目立って低いことが3日、大阪商業大が参加した国際アンケートで分かった。平成18年6～12月、日、中、韓、台の研究機関が意識調査した20～69歳の計約8000人を比較。「父親の権威は常に尊重されるべきか」との問いに、中、韓、台では80～84%が「賛成」だが、日本では53%と最も低かった。

父親の権威は尊重されるべきだ

日本	53%	36	11
中国	84	10	7
韓国	84	7	9
台湾	80	7	13

※四捨五入のため合計は100%にならない

男女の役割分担に関する質問では、中、台の49%以上が「夫は外で働き妻は家庭を守るべきだ」と答え、日本では32%にとどまった。しかし夫が家事をする

頻度は日本が週1回未満と最低だった。既婚女性に結婚への満足度を尋ねると、中、台で80%以上が「満

足」と回答。日、韓では51%と低迷し、夫側の満足度を2割近く下回った。大商大の岩井紀子教授は「日本人は『家族はこうあるべきだ』との規範から自由なのかもしれないが、明確な家族像を持たないとも

言える」と分析。「日本の男性は家事をする頻度が少なく、理想と現実乖離がある。夫が悩みを聞いてくれないとの不満も妻には強いようだ」と話している。7日から大商大で開くシンポジウムで発表する。